

台風第19号の災害を受け、国、県、流域市町村が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、緊急治水対策会議を設置して、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を令和2年1月31日に取りまとめました。関係機関が連携し、以下の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指してまいります。

## 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト「3本の柱」

流域内の関係者(国、県、市町村)が連携して、河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、『信濃川水系緊急治水対策プロジェクト』をとりまとめました。



プロジェクト「3本の柱」を中心に流域全体が一体となった治水対策を目指します。

### ① 河川における対策 — 被害の軽減に向けた治水対策の推進

●信濃川水系では、これまでの観測史上最高水位を更新する大きな洪水が発生し、堤防の決壊、越水が複数発生するなど、現況施設能力を超える事象や河岸侵食による被害が発生しました。



長野県長野市穂保地先の堤防決壊、浸水被害状況

新潟県小千谷市内における浸水被害状況

**被害の軽減に向けた治水対策を加速化し推進を図ります。**

主な取組メニュー

- 被災施設等の迅速な復旧
  - ・堤防、護岸、排水機場等の被災施設の復旧
- 河川水位を低下及び洪水流下断面を向上させるための取組
  - ・遊水地等の洪水調整施設の整備
  - ・堤防整備、河道掘削による洪水流下断面の拡大
- 施設規模を上回る洪水に対する取組
  - ・危機管理型ハード対策
- 既存施設を活用した洪水被害軽減対策の取組
  - ・堤防の強化
  - ・露堤等の遊水機能の保全
  - ・既存施設の活用検討、既存ダム等の洪水調節機能の強化
  - ・堤防等の適切な維持管理

### ② 流域における対策 — 地域が連携した浸水被害軽減対策の推進

●千曲川流域は、周囲を山々に囲まれた急峻な地形のため流出が速く、複数の盆地と山あいの狭窄区間を交互に流下する地形特性から、外水や内水による氾濫被害が発生しました。

●信濃川中流域では、上流の隣接県の洪水の影響も受ける地形特性や大河津分水路に頼る洪水処理により益々下流のリスク増大が懸念されます。



長野県千曲市内における浸水被害状況

新潟県長岡市内における浸水被害状況

**地域及び関係機関が連携して浸水被害の軽減対策について検討し、取組を進めます。**

主な取組メニュー

- 流出抑制の取組
  - ・ため池等の既存施設の補強や有効活用
  - ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
  - ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設の整備
- 支川の氾濫抑制、内水被害を軽減する取組
  - ・支川水路における氾濫抑制等
  - ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組
  - ・防災拠点等の整備

### ③ まちづくり、ソフト施策 — 減災に向けた更なる取組の推進

●千曲川では、堤防からの越水や決壊、支川の氾濫などによる様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取ることが困難なところも見受けられました。

●信濃川中流域では、降雨中又は降雨が収まった後、長い時間をかけて到達する洪水や支川の氾濫など様々な浸水形態により、各住民が適切な避難準備、避難行動等を的確に取ることが困難なところも見受けられました。



マイタイムライン講習会の様子

**洪水特性を踏まえた、きめ細やかな情報提供等を関係機関が連携し実施する事により、「減災」の取組を推進します。**

主な取組メニュー

- 住まい方の工夫に関する取組
  - ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
  - ・高床式住まいの推進
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
  - ・マイタイムラインの普及
- 災害危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
  - ・公共交通機関との洪水情報の共有
  - ・住民への情報伝達手段の強化

～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～

## 信濃川水系緊急治水対策プロジェクトとは

- 令和元年10月東日本台風(台風第19号)において、信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、流域内の関係機関が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、国・県・市町村で構成する「信濃川水系緊急治水対策会議(千曲川)」、「信濃川水系緊急治水対策会議(信濃川中流)」を開催しました。
- 信濃川流域の関係機関との協議、調整を進め、令和2年1月31日に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を最終的に取りまとめ、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。



長野県知事

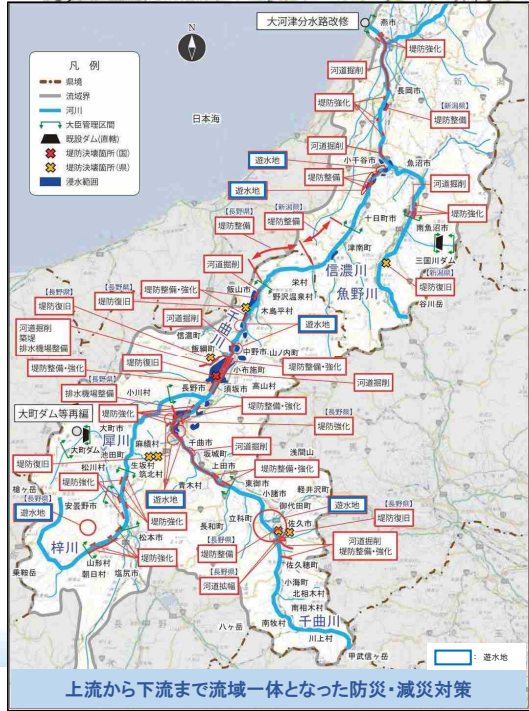
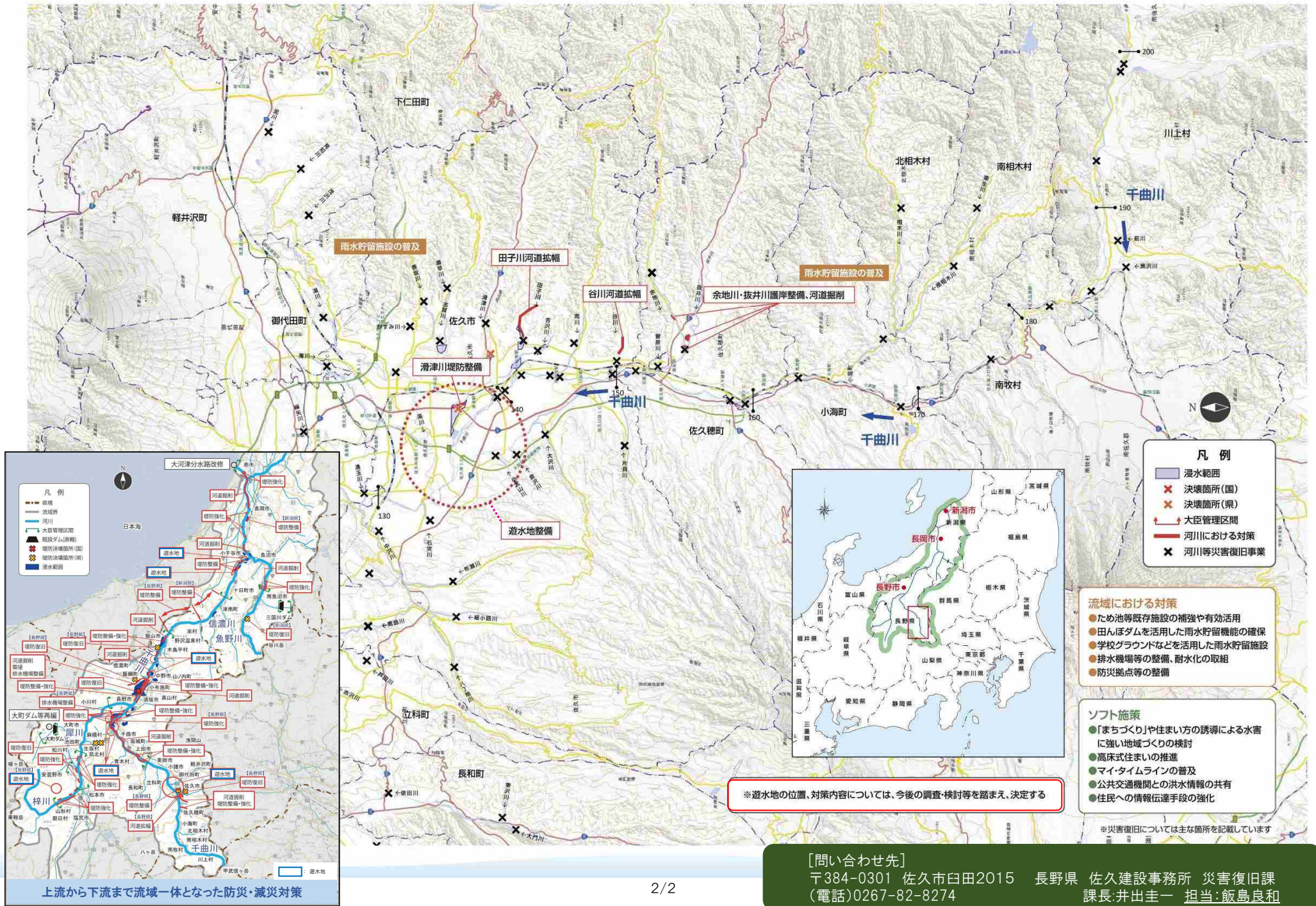
長野市長

長岡市長

## 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト 構成機関



※詳しい資料は国土交通省北陸地方整備局ホームページでご覧いただけます。  
 ～裏面に続く～



※遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する

- 流域における対策**
- ため池等既存施設の補強や有効活用に強い地域づくりの検討
  - 田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
  - 学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
  - 排水機場等の整備、耐水化の取組
  - 防災拠点等の整備

- ソフト施策**
- 「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
  - 高床式住まいの推進
  - マイ・タイムラインの普及
  - 公共交通機関との洪水情報の共有
  - 住民への情報伝達手段の強化

※災害復旧については主な箇所を記載しています

[問い合わせ先]  
 〒384-0301 佐久市白田2015 長野県 佐久建設事務所 災害復旧課  
 (電話)0267-82-8274  
 課長:井出圭一 担当:飯島良和